

## 沢登り教室に参加して

7月7日~8日、楽しみにしていた沢登り教室に参加しました。場所は奈良県川上村本沢川白倉又谷。一日目の午後に研修所に集合して移動。川上村はかなりの大雨だったらしく、恒例のお立ち寄りポイントの大滝茶屋(三人姉妹が経営)では「こんな日によく来てくれましたね」と心配されておられました。柿の葉寿司を食し、あすの帰りのおみやげを予約して、入之波温泉の民宿に到着。鮎の塩焼き晩御飯と共にほろ酔い状態がしばし続き、打ち合わせの後、近くの北股出合いにホテルの観賞に出掛ける。風があり、肌寒いが、心地よい。昨年の大水害の影響からか例年より少ないとのこと。夜半、O女史が仕事先の草津より単独で車を運転し、民宿で合流。年に3回ぐらいは沢登りに行かれるそうでタフで自立された方です。沢登りの心の準備は完璧！

7月8日(晴れ)お天気は梅雨の中休みでカンカン照りの真夏日。前日の雨で水量は多く、流れも速いエメラルドグリーンの世界へいざ入渓。私自身何年か振りの沢。トレーニング不足できごちない歩きになっている。滑ったり、躓いたり、苔の岩、ナメ滝等をビレイしてもらいながら次々と登攀してゆく。ゴルジュの流れのきついところはかえる泳ぎで。長身のKさんはコンパスを生かし、ジャンプして飛び込み、楽しんでいる。こんな手もあったんだ、滝登り、シャワークライミングもリーダーは考えておられたのでは、(寒くて々、途中でアンダーウエアー選定のミスもあり、着替えました)。予想通り水温は低く、全身ずぶ濡れの状態で水から上がった時の寒さは堪えました。速乾性の服はまったく役にたちません。冷えた身体を帰りの入之波温泉「鳩の湯」に入湯。身も心もリフレッシュでき、素晴らしい一日を過ごすことができました。

2004年の田村川割谷が私の初めての沢登りでした。自然のなかにはいり、森林と溪谷の美にふれて沢を歩き、登る。そして淵で泳げるなんて感動もんです。今回も私自身は数年ぶりの沢登りなのでちょっとドキドキでした。知力と体力の無さに反省、トホホ。リーダー、受講生の皆さんに励まされ、サポートして頂き、本当に感謝しています。「リベンジ」と娘に励まされ、次回もよろしくおねがいします。

(森國敏子)

ヘツリ箇所は腰までつかる



ブルージックでナメ滝をクリア



二条のナメ滝



急流は飛び込み、対岸に着く



5m の釜はロープに引っ張られて泳ぐ



2m のナメ滝手があり、足がかりがなくこの谷一番ハード



湧き水のでてくる滝、エメラルドグリーン



30m のナメ滝が続く

